



株式会社 ロジコム

**2019年度
環境経営レポート**

CONTENTS

1. トップメッセージ	…1	5. 環境経営目標	…18
		中期環境経営目標	
2. 会社概要	…2	6. 環境経営計画	…20
概要		持続可能な開発目標とEA21の取組との関係性	
関連会社		7. 環境負荷の実績	…22
拠点		環境負荷の実績と評価	
3. 理念	…9	8. 取組結果とその評価	…24
企業理念		二酸化炭素	
経営理念		廃棄物	
行動理念		水	
4. 方針	…11	社会	
基本方針		教育とコミュニケーション	
L60計画 基本方針		コンプライアンス	
ロジコムグループのキャッチフレーズ		作業環境の整備	
環境経営方針		働き方改革への取組	
品質方針		地域未来牽引企業	
事業活動			
業務関連図			
		9. 代表者による評価と見直しの結果	…41

報告対象期間

2019年4月1日～2020年3月31日

発行日

2020年7月1日



ロジコムグループのキャッチフレーズ

Quest for 「QUEST！」

1. トップメッセージ

当社は社是社訓である「信頼と貢献」の構築のために、全てのお客様に対してその責任と義務を果たすべく、株式会社ロジコム及び株式会社ロジコム・アイ、株式会社ニチブツがグループとして、積極的に安全、品質、環境、社会等のあらゆる活動に取り組んでおります。

近年の事業規模拡大に伴い、当社の化石燃料使用による二酸化炭素排出量は増加傾向ではありますが、事業活動における環境負荷の低減は我々の使命であると自覚し、積極的な使用効率の改善を行っております。地球環境・社会・経済への課題解決策としては、193か国の国連加盟国によって2015年9月に国連サミットで採択された持続可能な開発目標（SDGs）の実現に貢献できるように努力致します。

2020年7月1日
代表取締役社長 大上 正人

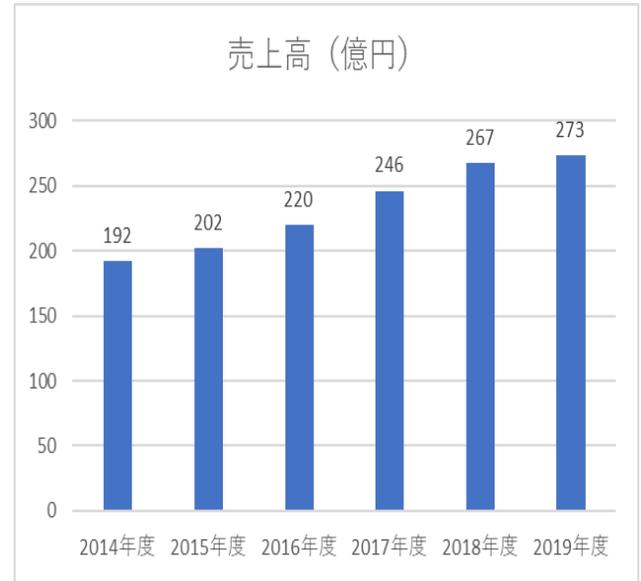


2. 会社概要



> 【概要】

社名	株式会社 ロジコム
代表者名	大上正人
本社所在地	広島市東区矢賀新町5-7-4
設立	1959年6月
資本金	24,540万円
売上高	273億円（2020年3月期）
従業員	880名（社員）



主な事業内容

- ①自動車部品会社及び関係会社の製品の保管修理、加工、その他製品の販売に関する一切の業務
- ②倉庫業
- ③貨物利用運送事業
- ④鉄道、船舶及び航空機による国際間複合輸送貨物取扱事業
- ⑤引越業務
- ⑥OA 機器等のソフトウェア販売並びにシステム開発及びコンサルティングサービス
- ⑦通関業・保税倉庫
- ⑧太陽光発電の売電

建屋面積 224,107㎡

ホームページ <http://www.net-logicom.co.jp/>

➤ 【関連会社】

社名	株式会社 ロジコム・アイ
代表者名	大上昭二
本社所在地	広島市東区矢賀新町5-7-4
創業	1969年12月
資本金	4,800万円
従業員	307名（社員）

主な事業内容

- ①貨物自動車運送事業
- ②引越業務
- ③不動産賃貸業
- ④自動車・フォークリフトの点検・整備・修理
- ⑤貨物利用運送事業



社名	株式会社 ニチブツ
代表者名	大上正人
本社所在地	広島市東区矢賀新町5-7-4
創業	1988年8月
資本金	4,000万円
従業員	8名（社員）

主な事業内容

- ①東京海上日動火災保険代理店
- ②東京海上日動あんしん生命保険代理店
- ③不動産賃貸業
- ④物品販売



> 【拠点】

> 国内

- 本社
- 15営業所
《ロジコム：15 ロジコム・アイ：12》
- 16物流センター
- 1工場



> 海外

- LOGICOM INTERNATIONAL (THAILAND) CO.,LTD.
- PT.LOGICOM CAKRA INDONESIA
- LOGICOM INTERNATIONAL (SHANGHAI) CO.,LTD.

(1) 事業所名・所在地一覧表

① 株式会社ロジコム

事業所	所在地
本社	〒732-0044 広島県広島市東区矢賀新町5-7-4
広島営業所	〒731-4311 広島県安芸郡坂町北新地1-1-34
海田物流センター	〒736-0034 広島県安芸郡海田町月見町4-11
広島シーサイド物流センター	〒731-4321 広島県安芸郡坂町植田1-1-16
熊野物流センター	〒731-4213 広島県安芸郡熊野町98-18くまの産業団地内
東広島営業所	〒739-0153 広島県東広島市吉川工業団地11-2
広島西物流センター	〒733-0036 広島県広島市西区観音新町4-16-16
海田工場	〒736-0034 広島県安芸郡海田町月見町9-8
山口営業所	〒747-0833 山口県防府市浜方89-1
防府三田尻物流センター	〒747-0825 山口県防府市大字新田築地2039-3
岡山営業所	〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島字新湊8263-18
水島物流センター	〒712-8065 岡山県倉敷市水島西千鳥2-22
総社物流センター	〒719-1134 岡山県総社市真壁1553
曾根物流センター	〒701-0214 岡山県岡山市南区曾根233-8
大阪営業所	〒566-0062 大阪府摂津市鳥飼上2-1-14
滋賀営業所	〒520-2552 滋賀県蒲生郡竜王町大字小口字広谷1284-13
竜王物流センター	〒520-2552 滋賀県蒲生郡竜王町大字小口字広谷1303
鈴鹿営業所	〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町字上野田5783-1
名古屋営業所	〒470-1207 愛知県豊田市鴛鴨町郷上200
豊田東物流センター	〒470-1207 愛知県豊田市鴛鴨町治林131
浜松営業所	〒430-0822 静岡県浜松市南区東町736-1
藤沢営業所	〒252-0811 神奈川県藤沢市桐原町15-2
海老名物流センター	〒243-0422 神奈川県海老名市中新田5-18-1
北関東営業所	〒326-0836 栃木県足利市南大町字宮西281-1
北九州営業所	〒800-0314 福岡県京都郡苅田町幸町7-135

熊本物流センター	〒869-1236	熊本県菊池郡大津町大字杉水2889-2
苅田物流センター	〒800-0321	福岡県京都郡苅田町新浜町1-6
福岡営業所	〒822-0151	福岡県宮若市水原210
鞍手営業所	〒807-1307	福岡県鞍手郡鞍手町大字室木765-15
中津営業所	〒879-0124	大分県中津市田尻崎20-3

② 株式会社ロジコム・アイ

事業所	所在地	
本社	〒732-0044	広島県広島市東区矢賀新町5-7-4
広島営業所	〒731-4311	広島県安芸郡坂町北新地1-1-34
東広島営業所	〒739-0153	広島県東広島市吉川工業団地11-2
山口営業所	〒747-0833	山口県防府市浜方89-1
岡山営業所	〒713-8103	岡山県倉敷市玉島乙島字新湊8263-18
滋賀営業所	〒520-2552	滋賀県蒲生郡竜王町大字小口字広谷1284-13
名古屋営業所	〒470-1207	愛知県豊田市鴛鴦町郷上200
浜松営業所	〒430-0822	静岡県浜松市南区東町736-1
藤沢営業所	〒252-0811	神奈川県藤沢市桐原町15-2
北関東営業所	〒326-0836	栃木県足利市南大町字宮西281-1
北九州営業所	〒800-0314	福岡県京都郡苅田町幸町7-135
福岡営業所	〒822-0151	福岡県宮若市水原210
中津営業所	〒879-0124	大分県中津市田尻崎20-3

③ 株式会社ニチブツ

事業所	所在地	
本社	〒732-0044	広島県広島市東区矢賀新町5-7-4

(2) 認証登録の対象範囲

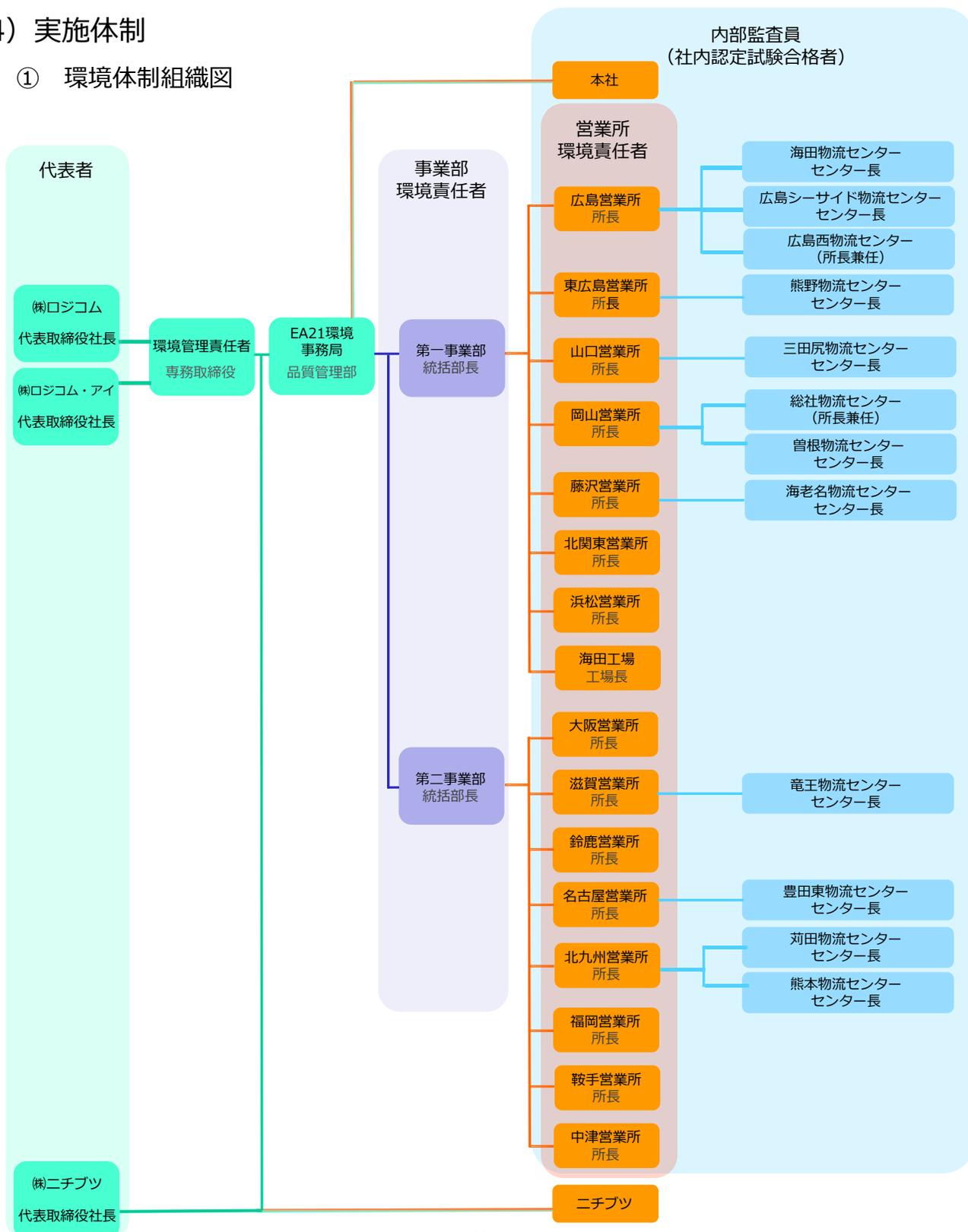
- ・自動車部品関連物流サービス、自動車部品製造業、太陽光発電売電業
自動車部品関連運輸サービス、不動産賃貸業、損害保険業務、
- ・株式会社ロジコム、株式会社ロジコム・アイ、株式会社ニチブツをグループとした一括認証登録

(3) 環境管理責任者及び連絡先

- ・責任者 : 株式会社ロジコム 専務取締役 小林哲章
- ・担当部署 : 株式会社ロジコム 品質管理部
- ・連絡先 : TEL 082-284-7093 Fax 082-284-7701

(4) 実施体制

① 環境体制組織図



② 環境経営システム責任と権限一覧表

担当者	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間、技能者を用意
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知
	・環境経営目標の承認
	・代表者による全体評価と見直しを実施
	・環境経営レポートの承認
環境最高責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・法規制等要求事項登録簿を承認
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口(外部機関)
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの作成
	・内部監査員の選任及び内部監査実施の指示
EA21環境事務局	・EA21推進の事務局
	・環境関連法規等チェックリストの作成
	・環境経営レポートの公開(地域事務局への送付)
	・特定された項目の手順書・基準書の作成
	・特定された緊急事態への対応のための基準書・手順書の作成
事業部環境責任者	・環境最高責任者の補佐
	・品質環境改善計画書の承認
	・統括営業所の環境に関する統括責任者
	・統括営業所の環境に関連する全ての項目の計画と実績の確認・フォローをする
営業所環境責任者	・自営業所における環境経営システムの実施
	・環境への負荷の自己チェックリスト及び環境への取組の自己チェックの実施(自営業所分)
	・自営業所における環境経営方針の周知
	・自営業所の従業員(社員・パート・人材)に対する教育訓練の実施
	・自営業所に関連する環境経営目標及び環境活動計画の作成と実施及び達成状況の報告
	・手順書の運用
	・特定された緊急事態への対応のためのテスト・訓練記録
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口(顧客・地域)
	・自営業所の問題点の発見、是正、予防処置
	全従業員
・決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加	
内部監査員	・環境管理最高責任者の指示により内部監査の実施
	・ガイドラインや管理規定、基準書に適合し継続的な改善活動になっているかの監査
	・内部監査の実施結果を環境最高責任者、経営者へ報告

3. 理念



➤ 【企業理念】

☆社憲

- 1.お客様へ信頼と満足を与え、よりよい提案が出来る企業とする。
- 2.社員一人ひとりの心と生活をより豊かにすること。
より豊かな心と生活は、より豊かな仕事を生み出し、
より豊かな社会作りに貢献する。

☆基本方針

「信頼第一」



緑 . . . 歴史 (History)
赤 . . . 情熱、感情 (Passion)
青 . . . 未来 (Future)

☆企業哲学

- 1.人が人をつなぎ、人が情報を結び、人が物を運ぶ。
- 2.人を基本とし、ネットワークとコミュニケーションをベースに
熱い心で結ぶ人間企業とする。

➤ 【経営理念】

☆経営の姿勢

- 1.事業 自動車をはじめとする部品業界にもっと深くより広く関わり、
新しい価値や未来を発見し、創造してゆく企業とする。
- 2.人 社員一人ひとりをより大切にする企業とする。
- 3.風土 健康的で若々しく躍動し、明るく自由な提案ができる企業とする。
- 4.職場の理念
 - ・活発で積極的な意見が交流する、創造性豊かな明るい職場とする。
 - ・全員がサービス業であることを自覚し、モノと情報が生かされるよう
整理整頓された職場とする。
 - ・一人ひとりの力とそれに必要なハード&ソフトが結集され、
信頼と貢献が実現できる職場とする。

➤ 【行動理念】

- 1.正確な管理が信頼を呼び、お客様や同僚、上司または部下との絆を強くする。
- 2.いつも原価意識を胸に、価値を生み出す仕事をしよう。
- 3.どうしたらもっといい仕事ができるかを、いつも考えながら仕事に取り組もう。

4. 方針



➤ 【基本方針】

ロジコムグループは社是・社訓として「信頼と貢献」を掲げ物流に関わる事業を通じて
人、顧客、納入先、地域、社会 からの信頼と
人、顧客、納入先、地域、社会 への貢献に務め、
企業の社会的責任を果たします。

➤ 【L70計画 基本方針】

創立70周年（2029年度）を目標にした中期計画

- 1.国際社会から信頼される企業を目指す
- 2.常に新しいことに挑戦する
- 3.個性を伸ばし、能力を高める
- 4.夢を語り、夢の実現を

➤ 【ロジコムグループのキャッチフレーズ】

Quest for 「QUEST！」

Quest	・・・	探究/冒険の旅
Quality	・・・	品質
Usefulness	・・・	有効性
Environment	・・・	環境
Safety	・・・	安全
Technology	・・・	技術
! surprise	・・・	驚き



品質・安全・環境に配慮し、
技術とシステムとの有効性を高め、
物流領域を超えた新たなビジネスモデルの構築を、
驚きと感動とともに、お客様に提供致します。

2010年 商標登録

➤ 【環境経営方針】

ロジコムグループは、社会に貢献する為に、EA21の環境経営マネジメントシステムを活用し、継続的な改善による、環境負荷の低減で環境保全を推進する。

- 1.環境関連の法令、規則、社会的規範を遵守する。
- 2.事業活動の全段階を通じて、環境に与える影響の中で以下の項目について環境保全活動を推進する必要性を認識して、全社的活動として行動する。
 - ①化石燃料及び電気エネルギーの使用効率の向上を図る
 - ②廃棄物の管理強化及び水の使用効率の向上を図る
 - ③環境に配慮した設備、備品の販売及び使用をする
 - ④有害な化学物質の把握による適正な管理をする
- 3.全従業員に対し、環境に関する教育と訓練による意識向上活動を実施する。
- 4.地域や環境団体の環境活動に積極的な取り組みをする。
- 5.この方針を公開し、社内外のコミュニケーションに努め、又事業環境の変化等により定期的及び必要に応じて随時見直しをする。

株式会社ロジコム 代表取締役社長 大上 正人

株式会社ロジコム・アイ 代表取締役社長 大上 昭二

株式会社ニチブツ 代表取締役社長 大上 正人

制定日 2008年4月1日

改定日 2020年2月1日

➤ 【品質方針】

ロジコムグループは社是社訓として「信頼と貢献」を掲げ、物流及び製造に関わる事業を通じてお客様、納入先、地域への企業の社会的責任を果たすことを目指しています。またお客様へ信頼と満足を与え、よりよい提案ができる企業とすることを「企業理念」としています。この理念に基づいて品質方針を定めます。

- 1.お客様から満足を頂ける高品質の物流サービス及び製品を提供します。
- 2.品質マネジメントシステムを有効的に活用し、継続的な改善を行い、品質の向上を図ります。
- 3.お客様の要求事項を満足させる為の仕組みづくりと人材育成に努めます。

➤ 【事業活動】

ロジコムグループは、全国に点在する自動車部品会社の工場からジャストインタイムで自動車会社の生産ラインに部品を供給する為に、東は北関東（栃木県）から西は九州（大分県）迄、全国の主要拠点に営業所と物流センターを配置、株式会社ロジコムは物流サービス及び製造業、株式会社ロジコム・アイは輸送サービス、株式会社ニチブツは損害保険業務という役割を分担し、他の物流企業との共同一貫物流の実施及びお客様の物流問題を解決する仕組みを構築しております。又一部のお客様要請により海田工場マフラーハンガーの製造加工業務を行っている企業グループです。

(1) 物流の合理化

①共同物流（集荷・輸送・納品）の実施

自動車部品の調達物流における共同輸送により、トラックの積載効率向上による物流の合理化により、道路及び工場内の車両削減を実現しています

②物流デポへの集約

物流の拠点（デポ）に集約することで、輸送距離の短縮、荷役作業の効率化等によるJITの実現へ貢献をしています

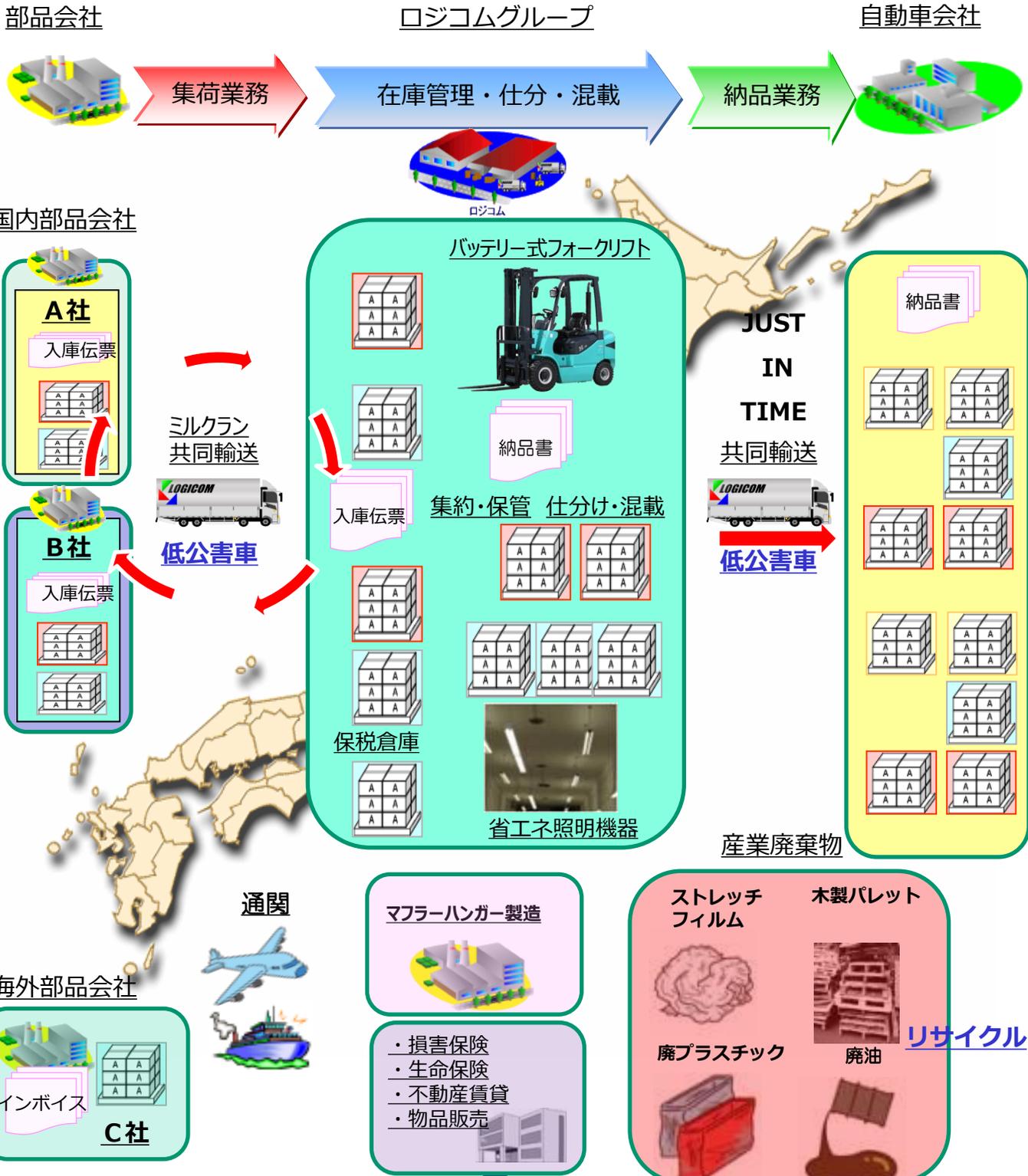
③通関から最終地までの一貫物流

海外での会社設立及び輸出入品の通関手続きから最終納入先迄一貫した物流業務を実現しています

(2) 環境に配慮した設備導入の推進

省エネに配慮した倉庫や照明設備及び車両を積極的に採用しています

【業務関連図】



① 物流作業の入庫～納品まで工程

入庫工程①

部品会社から営業所に到着した部品の部品番号と数量をチェックし、倉庫の指定の場所に格納する。



入庫工程②

入庫チェックされた部品の番号と数量を入力して在庫の更新・入庫の登録をする。



出庫工程①

納入先からのオーダーを受信して、現品票・かんばん・納品書及び出荷指示書を作成する。



出庫工程②

出荷指示書に基づいて指定された部品の指定数をピッキングし荷揃えをする。



出庫工程③

バーコードリーダーにより照合をする。



出庫工程④

出荷準備完了した製品を出荷ヤードに移動する。



納入工程①

出荷準備が完了した部品をトラックに積込をする。



納入工程②

納入先の指定された場所にトラックを停車。部品を指定された場所に降ろして納品書による検収を受ける。



納入工程③

前回納品した部品の空容器を空容器保管場所よりトラックに積み込み帰社する。



② 流通加工

納品前の最終検査と納入荷姿への詰替え工程



部品会社からの製品は、納入前に外観/機能検査と納入荷姿へ詰替えをする。

輸入品の検査及び納入容器への詰替え工程



海外部品会社からの製品の外観/機能検査と輸入品コンテナから納入荷姿の容器に詰替えをする。

納品前の最終組み立て工程



納入前に製品を組み立てる。

補用品の梱包（個装）工程



受注オーダーに従って部品に純正ラベルを添付し個装する。

シンクロ、順序納入工程



自動車会社の生産ラインの順番に製品を荷揃して納品をする。

専用伝票の発行



かんばん 自動車会社の専用伝票を発行する。



チケット



納品書

③ 自動車用マフラーハンガーの加工 (海田工場)

線材 (パイプ) 曲げ加工

線材 (パイプ) を加工して部品を製造する。



主な設備

直線機： 4台 ヘッダー機： 8台

プレス： 23台 NCベンダー機：3台

エアー曲げ機：8台

カット工程



コイル材



コイル材を直線材にカット



パイプ材



パイプ材をカット

ヘッダー加工工程



ヘッダー機にて、カットした材料のヘッド部分を加工する。

製品



プレス工程

プレス機で製品を加工する。



製品



5. 環境経営目標



➤ 【中期環境経営目標】

2018～2020年度の中期環境経営目標は以下となります。

① 原単位目標

環境経営目標（原単位）	単位	対象項目	基準値	目標値		
			2017年	2018年度	2019年度	2020年度
二酸化炭素排出量（電力・化石燃料）	kg-CO ₂	売上高	595.24	571.43	553.57	535.72
			基準年度比増減率	-4%	-7%	-10%
産業廃棄物排出量	t	売上高	0.0590	0.0572	0.0549	0.0531
			基準年度比増減率	-3%	-7%	-10%
水使用量	m ³	売上高	0.5379	0.5218	0.5056	0.4895
			基準年度比増減率	-3%	-6%	-9%
二酸化炭素排出量（トラック）	kg-CO ₂	走行距離	0.7379	0.7372	0.7357	0.7349
			基準年度比増減率	-0.1%	-0.3%	-0.4%

② 購入率目標

環境経営目標（購入率）	項目	単位	基準値	目標値		
			2017年	2018年度	2019年度	2020年度
環境に配慮した製品の購入	環境に適した製品の優先購入（グリーン購入）	購入率%	47.1%	47.5%	48.0%	48.5%
			基準年度比増減率	+0.78%	+1.84%	+2.90%

③ 環境負荷目標

区分	項目	単位	実績負荷量	目標負荷量			
			2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
購入電力	電力	kwh	6,483,224	6,356,350	6,393,125	6,424,318	
使用量	化石燃料	LPG	kg	640,700	634,255	657,588	692,705
		ガソリン	ℓ	10,213	10,213	10,213	10,213
		軽油	ℓ	3,376,384	3,383,266	3,463,894	3,531,998
	水	水道	m ³	13,238	13,310	13,699	13,964
排出量	二酸化炭素	kg-CO ₂	14,650,629	14,576,618	14,997,717	15,282,538	
	一般廃棄物	t	314	330	346	363	
	産業廃棄物	t	1,453	1,460	1,487	1,515	
事業の規模	売上高	百万円	24,613	25,509	27,093	28,527	
	走行距離	km	12,007,456	12,046,727	12,362,884	12,621,842	

④ 環境経営目標設定（中期計画）の考え方

2018年度～2020年度の中期環境経営目標は以下の項目に基づいて計画致しました

- ・ 削減の対象を、二酸化炭素排出量、産業廃棄物排出量、水使用量とトラックの二酸化炭素排出量と致しました
- ・ 環境経営目標（原単位）は売上高（百万円）に対する、購入電力と設備（フォークリフト、車両）で使用するエネルギーの二酸化炭素排出量と産業廃棄物排出量及び水使用量と致しました
- ・ 使用量の定義とは、LPGは購入量、ガソリン及び軽油は給油量と致します
- ・ 二酸化炭素換算係数は環境省の平成27年度「電気事業者別排出係数一覧」の電力会社調整後排出係数とし、LPGは $3.00196\text{kg-CO}_2/\text{kg}$ 、ガソリンは $2.32166\text{kg-CO}_2/\ell$ 、軽油は $2.62434\text{kg-CO}_2/\ell$ で計算しています

電気事業者別調整後排出係数

- ・ 中国電力： $0.700\text{kg-CO}_2/\text{kWh}$
- ・ 中部電力： $0.482\text{kg-CO}_2/\text{kWh}$
- ・ 九州電力： $0.528\text{kg-CO}_2/\text{kWh}$
- ・ 関西電力： $0.496\text{kg-CO}_2/\text{kWh}$
- ・ 東京電力： $0.491\text{kg-CO}_2/\text{kWh}$

目標値は、過去4年間の実績と今後の計画を年度毎に検討し、設定致しました

- ・ 化学物質は当社の製品や物流において使用されておりませんが、お客様の要求で使用する場合は、SDSによりPRTR法該当の確認を行い、該当する場合は適性に管理します
- ・ グリーン購入は、環境対応製品の事務用品や備品を優先的に購入し、その実績を管理致します
- ・ 環境に配慮した製品の購入は、車両の代替え時に低燃費車へ、照明設備の代替え時にはLED照明や無電極ランプへ変更し、実績を管理致します

6. 環境経営計画



項目		取り組み事項	責任者
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量	①不要照明の消灯 ・不在場所の消灯及び蛍光灯の撤去 ・昼間の事務所及び倉庫の消灯 ②エアコンの温度設定の徹底 ・設定温度（冷房時25℃、暖房時24℃） ・フィルターの掃除を冷暖房切り替え時に実施 ③照明設備の代替時、新設時に省エネ製品を導入 ・蛍光灯と水銀灯のLED照明または無電極ランプ化 ④デマンド監視装置によるピーク電力の監視 ・フォークリフトの充電時間帯の分割 ⑤自然エネルギーの活用 ・倉庫の天井及び側面からの自然光を採光	部門長 営業所長 工場長 センター長
	化石燃料の使用量 ・LPG ・ガソリン ・軽油	①アイドリングの停止 ・駐車時はエンジンを停止 ②燃費の改善 ・エコドライブ運転 ・デジタコによる運行管理（スピード、アイドリング等） ③走行距離の短縮 ・レイアウト変更や運行ルート変更 ・セミトレーラ、フルトレーラの導入	営業所長 工場長 センター長
	二酸化炭素の低排出車の導入	①フォークリフト燃料を化石燃料から電気に変更 ・軽油、ガソリン、LPG車からバッテリー車に代替え	営業所長 工場長 センター長
廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量	①分別によるリサイクルの推進 ・一般廃棄物のダンボールはリサイクルとして排出 ・産業廃棄物のリサイクル	営業所長 工場長 センター長
水使用量の削減	水使用量	①水の流しっぱなしの禁止 ・節水啓発ポスターの掲示 ②節水コマの設置	営業所長 工場長 センター長
化学物質の適性管理	有害物質の適性管理	①化学物質購入時又お客様の要求により使用する時はMSDSによりPRTR法に該当するか確認をして適性に管理	営業所長 工場長 センター長
環境配慮製品・設備の購入、販売	環境対応製品及び設備の購入	①クリーンディーゼルエンジンのトラックの購入 ②アドブルーを使用して排出ガス濃度を低減 ③環境対応製品の購入	営業所長 工場長 センター長
	環境対応製品の販売	①自動車保険エコマーク認定の金融商品の販売 ・Web約款 ②太陽光発電の売電	(株)ニチブツ 営業所
社会貢献活動		①エコキャップ運動 ②自動販売機の売上を広島県ジュニアゴルフ振興会に寄付 ③地域社会への貢献活動 ④「Green Gift」プロジェクト	営業所長 工場長 センター長 (株)ニチブツ
環境教育		①新規採用時の環境教育 ②E-COM NEWSの掲示による啓蒙 ③緊急事態訓練の実施 ・火災/地震避難及び対応訓練 ・油漏れ対応訓練	営業所長 工場長 センター長



【持続可能な開発目標とEA21の取組との関係性】

ロジコムグループは2030年に向けた国際社会の共通目標である持続可能な開発目標（SDGs）への取組の重要性を認識しています。EA21の取組と関連の深いSDGsの目標は以下の8つです。この取組を通じてお客様と共にこの目標の達成に貢献していきます。

持続可能な開発目標（SDGs）			EA21取組
	<p>全ての人に健康と福祉を</p>	<p>あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する</p>	<p>騒音・振動の防止 化学物質の適正管理 エコキャップ回収 広島県ジュニアゴルフ振興会への寄付</p>
	<p>質の高い教育をみんなに</p>	<p>すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する</p>	<p>環境教育・訓練 協力企業との合同研修会</p>
	<p>安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する</p>	<p>水使用量の削減 節水コマの設置 排水の適正処理</p>
	<p>エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する</p>	<p>エネルギーの効率的な使用 化石燃料使用量の削減 省エネ設備の導入 敷地内の緑地化</p>
	<p>住み続けられるまちづくりを</p>	<p>都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする</p>	<p>3Rの推進 廃棄物の適正管理 排出物の分別 建物設備の適切な維持管理 社会貢献活動</p>
	<p>つくる責任、つかう責任</p>	<p>持続可能な消費と生産のパターンを確保する</p>	<p>グリーン購入 紙・資材の省資源化 省エネ設備の導入</p>
	<p>気候変動に具体的な対策を</p>	<p>気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る</p>	<p>フロン漏洩防止 温室効果ガスの削減</p>
	<p>陸の豊さを守ろう</p>	<p>陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る</p>	<p>グリーンギフト活動 紙資源の削減</p>

7. 環境負荷の実績



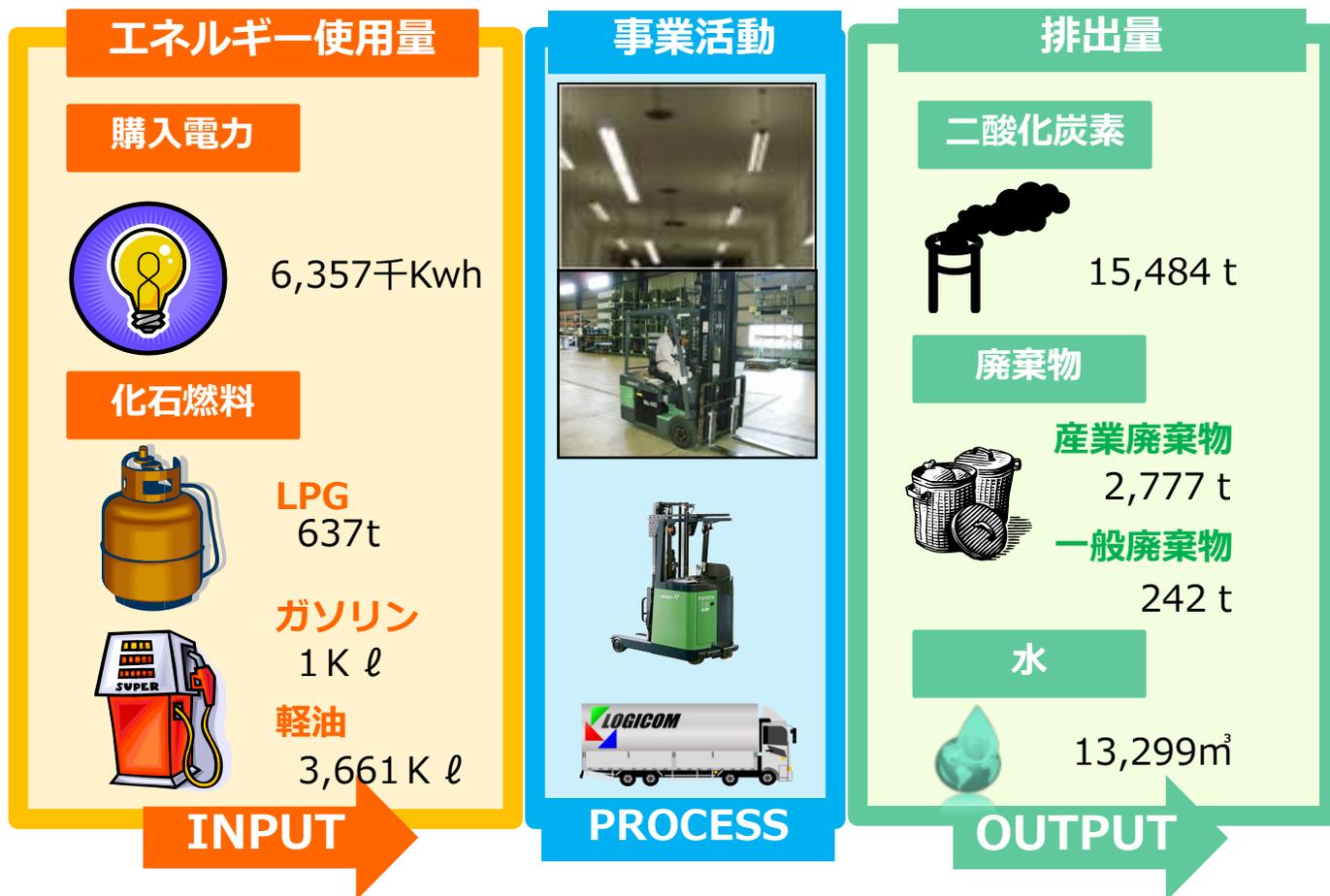
➤ 【環境負荷の実績と評価】

(1) 2019年度 目標達成状況

環境経営目標項目		2017年度 基準年	2019年度 目標値	2019年度 実績値	評価
原単位当りの削減	二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂ /売上)	595.24	553.57	563.04	×
	二酸化炭素排出量の削減 トラック (kg-CO ₂ /km)	0.7379	0.7357	0.7386	×
	産業廃棄物排出量の削減 (t/売上)	0.0590	0.0549	0.1120	×
	水使用量の削減 (m ³ /売上)	0.5379	0.5056	0.4869	○
環境に配慮した製品の購入	グリーン購入 事務用品の購入率 (%)	47.1	48.0	41.4	×
化学物質の 適性管理	有害物質の把握と管理	対象品の把握 と適性管理	対象品の把握 と適性管理	対象品の把握 と適性管理	○
購入電力	電力 (kw/h)	6,473,224	6,393,125	6,357,456	○
化石燃料の 使用量	LPG (kg)	640,700	657,588	637,195	○
	ガソリン (ℓ)	10,213	10,213	1,095	○
	軽油 (ℓ)	3,376,384	3,463,894	3,660,891	×
水使用量	水道 (m ³)	13,238	13,699	13,299	○
排出量	二酸化炭素 (kg-CO ₂)	14,650,629	14,997,717	15,484,034	×
	一般廃棄物 (t)	314	346	241.76	○
	産業廃棄物 (t)	1,453	1,487	2,777.02	×
事業規模	売上高 (百万円)	24,613	27,093	27,313	○
	トラック走行距離 (km)	12,007,456	12,362,884	13,009,334	×

- ・環境目標値の設定は売上高 (百万円)、トラックは走行距離 (km) に対する原単位とします
- ・二酸化炭素換算係数は環境省の平成29年度「電気事業者別排出係数一覧」の電力会社調整後排出係数とし、LPGは3.00196kg-CO₂/kg、ガソリンは2.32166kg-CO₂/ℓ、軽油は2.62434kg-CO₂/ℓで計算しています
- ・廃棄物の削減目標設定は業務から排出される産業廃棄物を対象としています。但し廃ラップ (ストレッチフィルム) や木製パレットは一部有価物やリサイクルとして排出しており排出量に含まれておりません
- ・一般廃棄物の可燃ごみや不燃ごみは廃棄処分をしていますが、多量に排出されるダンボールは有価物やリサイクルとして排出しており排出量に含まれておりません
- ・化学物質は当社の製品や物流において使用されておりませんが、お客様の要求で使用する場合は、MSDSによりPRTR法該当の確認をし、該当する場合は適性に管理します

(2) エネルギー総使用量と総排出量の実績



(3) 営業所の環境経営目標と実績及び評価

営業所	二酸化炭素排出量 kg-CO ₂ /売上			産業廃棄物 t/売上			排水 m/売上			二酸化炭素排出量 (トラック) kg-CO ₂ /売上		
	目標	実績	評価	目標	実績	評価	目標	実績	評価	目標	実績	評価
広島	648.01	427.26	○	0.0058	0.0028	○	0.7914	0.6100	○	0.7344	0.6895	○
東広島	506.83	859.07	×	0.0000	0.0000	○	0.3636	0.3080	○	0.7735	0.7879	-
山口	801.73	874.26	×	0.0335	0.1561	×	0.7104	0.5688	○	0.7764	0.7848	×
岡山	356.20	268.61	○	0.0769	0.2806	×	0.2593	0.2222	○	0.6882	0.7817	×
大阪	253.68	217.12	○	0.0182	0.2368	×	0.5123	0.5995	×			
滋賀	973.24	926.85	○	0.0130	0.0267	×	0.5537	0.6433	×	0.7415	0.7533	×
名古屋	354.59	416.22	×	0.1810	0.1272	○	0.1894	0.3163	×	0.6906	0.7070	×
鈴鹿	463.31	380.85	○	0.0111	0.9531	×	0.7751	0.8195	×			
浜松	501.71	485.67	○	0.0642	0.0078	○	0.4790	0.5412	×	0.6796	0.6881	×
藤沢	508.08	552.74	×	0.1503	0.2362	×	0.6025	0.6888	×	0.7751	0.7545	○
北関東	433.26	514.33	×	0.2195	0.1574	○				0.7405	0.7970	×
北九州	639.84	613.02	○	0.0261	0.0466	×	0.3160	0.2722	○	0.7098	0.7180	×
福岡	568.08	653.32	×	0.0657	0.0506	○	0.7223	0.7802	×	0.8423	0.7557	○
岐阜	357.92	393.08	×	0.0169	0.0000	○	0.8683	1.0192	×	0.9662	0.9026	○
中津	635.75	522.13	○	0.0066	0.0073	×	0.4832	1.0440	×	0.6979	0.7342	×
工場	476.73	532.65	×	0.0052	0.0028	○	1.7067	1.4960	○	0.2820	0.3333	×
熊本	186.15	175.29	○	0.0058	0.0029	○	0.5243	0.5272	×			
本社	58.58	49.87	○	0.0000	0.0057	×	0.6349	0.7401	×			
全社	553,573	563,04	×	0,0549	0,1120	×	0,5056	0,4869	○	0,7357	0,7386	×

8. 取組結果とその評価



➤ 【二酸化炭素】

1. 環境と安全に配慮した取組を推進しています

(SDGs目標：3、7、11、12)

- ・クリーンディーゼルエンジン車の導入
- ・車両の大型化（トレーラ）による原単位排出量の削減
- ・エコドライブの徹底
- ・デジタル運行記録やドライブレコーダーを活用した運転指導
- ・二酸化炭素を排出しないバッテリー式フォークリフトの使用



☆クリーンディーゼルエンジン車
・排出ガス規制適合車



☆車両の大型化
・セミトレーラ、フルトレーラ

取り組み目標項目	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績
低公害車の購入	99.4%	100%	100%

☆ドライブレコーダーを活用した安全運転指導（KYT）



- ☆法令遵守の徹底
- ・対面点呼
 - ・アルコールチェック
 - ・車両始業点検（油漏れ等）

取り組み目標項目	2019年度目標	2019年度実績
燃費 km/ℓ	3.51	3.55

☆化石燃料の削減

フォークリフトを内燃機関方式からモーター方式であるバッテリー車の変更に推進しています



使用燃料	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
LPG車	144台	148台	163台	177台
軽油車	0台	0台	0台	0台
ガソリン車	2台	1台	0台	0台
バッテリー車	206台	206台	214台	231台

2. 電力使用量の効率化を推進しています

(SDGs目標：7、12)

全社員の省エネ活動と倉庫内や屋外及び事務所の水銀灯・蛍光灯をLED照明または無電極ランプに変更又新規設備には当初より設置することで電力の使用量の削減に取り組んでいます。更に屋根に明り取りを設置し採光しています。

(1) 蛍光灯・水銀灯のLED照明化と明り取り屋根の増設

☆事務所・倉庫・下屋の照明設備をLED照明または無電極ランプ化

【20部署が該当】

広島 山口 岡山 藤沢 北関東
 浜松 滋賀 鈴鹿 名古屋 北九州
 福岡 鞍手 中津 東広島 本社
 海田物流センター 海田工場
 広島シーサイド物流センター
 熊野物流センター 曾根物流センター



倉庫内 LED照明

天井からの採光

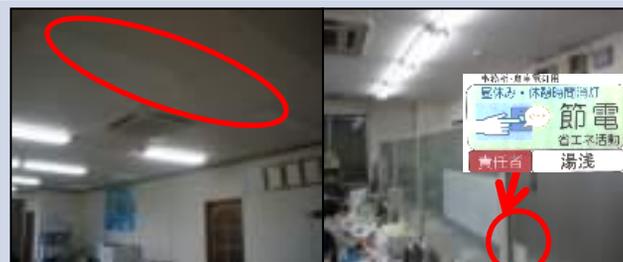
(2) 省エネ活動

☆省エネの取組である右記の項目を全員で日々実施しています

- ① エアコンの温度設定及び照明スイッチの管理者設定と掲示により意識付けを行いました



- ② 不在場所の照明の消灯
 不要場所の蛍光灯の撤去
 ③ 未使用設備の電源をOFFにする
 ④ トイレの電源はセンサーにて自動制御
 ⑤ クールビズ・ウォームビズによるエアコン使用時間の削減
 ⑥ 外灯の点灯時間のスライド化



不要場所の蛍光灯撤去

席を離れる時に蛍光灯の電源を切る

- ⑦ デマンド監視装置による最大使用量の管理・抑制



・デマンド監視装置設置

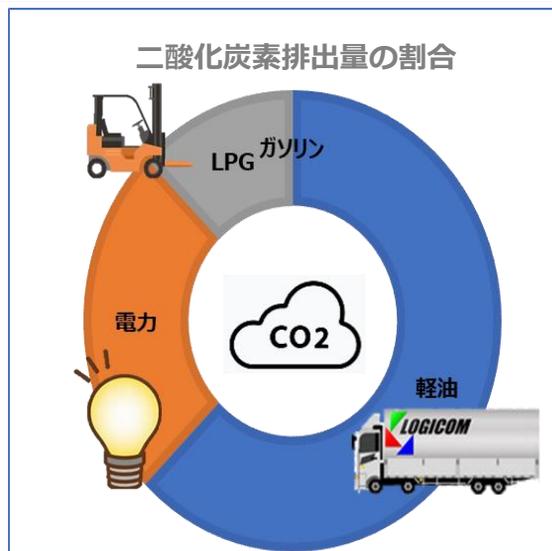
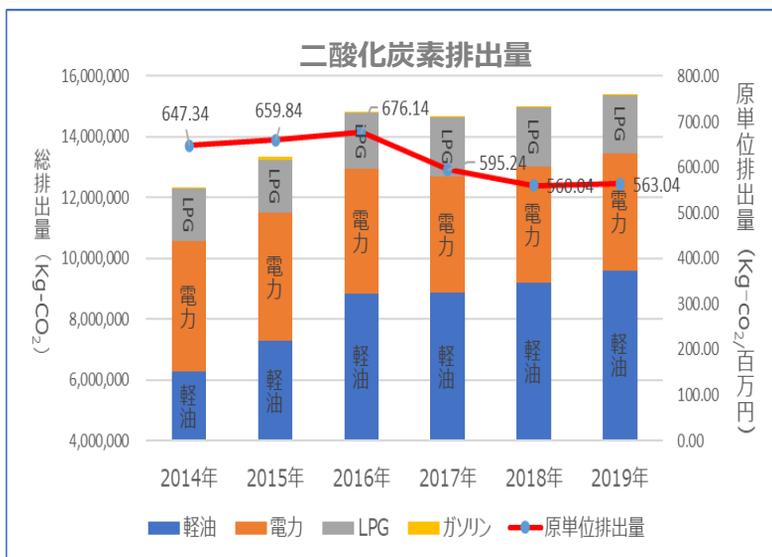
広島 山口 岡山 滋賀 藤沢
 海田工場 海田物流センター
 広島シーサイド物流センター
 熊野物流センター
 曾根物流センター

SDGsの目標との紐付け



3. 二酸化炭素排出量と原単位（売上）当たりの実績

項目	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
軽油	kg-CO ₂	6,272,682	7,269,703	8,829,416	8,860,780	9,194,905	9,607,423
電力	kg-CO ₂	4,286,777	4,227,739	4,114,258	3,842,783	3,822,031	3,855,543
LPG	kg-CO ₂	1,728,373	1,751,660	1,841,324	1,923,356	1,950,407	1,912,834
ガソリン	kg-CO ₂	54,782	77,174	50,928	23,712	10,558	2,542
原単位排出量	kg-CO ₂ /百万円	647.34	659.84	676.14	595.24	560.04	563.04
売上高	百万円	19,177	20,198	21,942	24,613	26,744	27,313



【2019年度実績分析】

・電力に関しては2016年度から段階的にLED照明へ切り替えを行ったことで大きな増加には至りませんでした。電力会社の変更による原単位での排出量に影響した。
軽油に対してはトラックの大型化（セミトレーラ・フルトレーラ）を進めており、今後の増加率を抑える効果が期待できる。

・LED化が概ね完了しており、今後の取り組みについて検討を行う

➤ 【廃棄物】

1. 廃棄物のリサイクル、リユースを推進しています

(SDGs目標 : 11、12、15)

輸送時に荷崩れ防止の為に使用するストレッチフィルムは社内で圧縮梱包、段ボールや木製パレット及びスクラップ（鉄・ステンレス）等は再生（リサイクル）資源として業者に売却しています。また資材として分別し再度使用が可能な結束バンド、リターナブル容器への変更等、社内のリユース（再利用）を進めています。

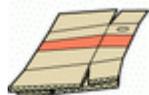
(1) リサイクル

- ☆梱包使用済みのストレッチフィルムを圧縮機で圧縮梱包しリサイクル業者に売却



プラスチック原料

- ☆梱包使用済み段ボールを古紙としてリサイクル業者に売却/委託



再生紙原料

- ☆破損やワンウェイの不要となったパレットはウッドチップとしてリサイクル業者に処分委託



ウッドチップ

- ☆鉄やステンレスのスクラップはリサイクルとして業者へ売却



鉄くず
ステンレスくず

(2) リユース

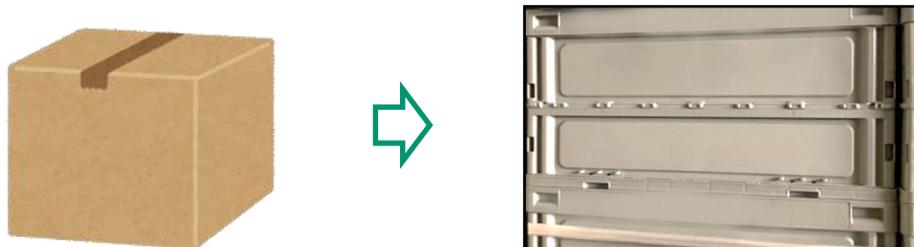
- ☆再度利用できる梱包用のPP結束バンドは所定の容器にて分別保管し使用します

- ☆PP結束バンドは荷崩れ防止策の縛着として再利用します



PP巻き 紐掛け

☆客先と荷姿調整を実施し、廃棄物となってしまう段ボール容器からリターナブル容器（廃プラ）へ変更を進めます



2. 紙資源の使用量削減と環境保護団体へのサポートを推進しています (SDGs目標：11、12、15)

東京海上日動火災保険株式会社が推進している「お客様とともに環境保護活動を行うこと」をコンセプトの「Green Gift」プロジェクトに地球環境保護活動として参加しています。

- ・お客様に「ご契約のしおり（約款）」等を紙の冊子ではなく、ホームページ上で閲覧いただく「Web約款」等をご選択いただくことにより、紙資源の使用量を削減。
- ・紙資源使用量削減額の一部を寄付し、マングローブ植林をはじめとした国内外の環境保護活動をサポート。

☆Green Gift地球元気プロジェクトより

- ・Web約款実施率100%



☆マングローブ植林活動より

- ・マングローブ植林累計実績10,103ha

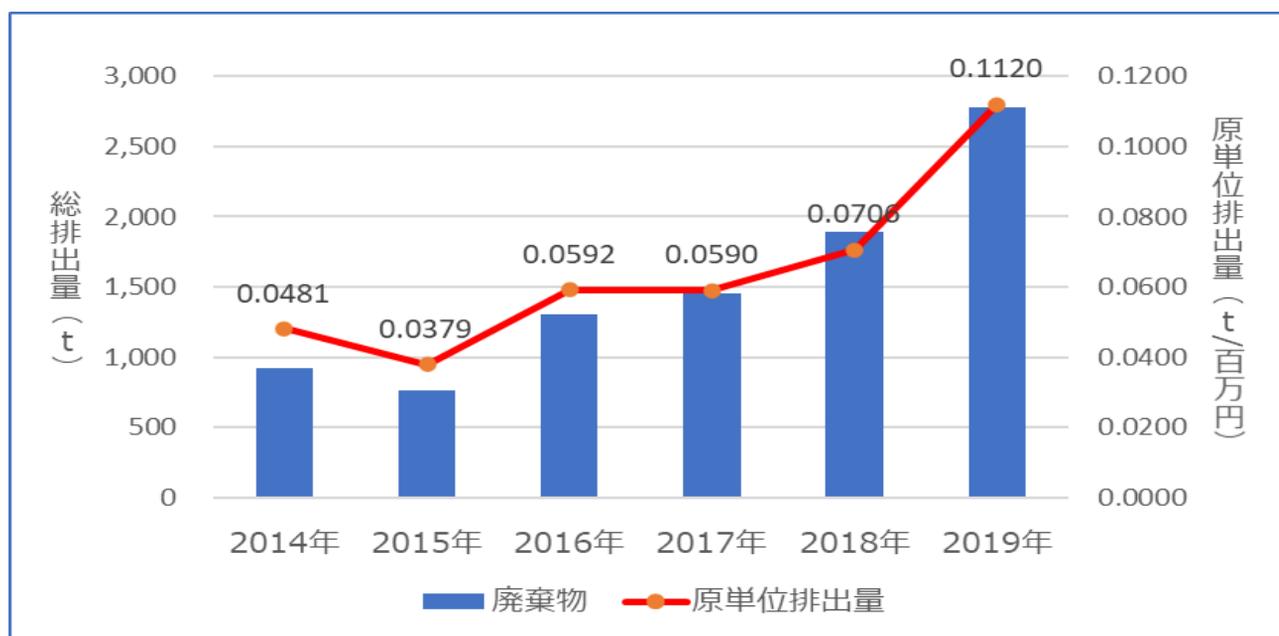


SDGsの目標との紐付け



3. 産業廃棄物排出量と原単位（売上）当たりの実績

項目	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
廃棄物	t	923	766	1,300	1,453	1,889	2,777
原単位排出量	t/百万円	0.0481	0.0379	0.0592	0.0590	0.0706	0.1120
売上高	百万円	19,177	20,198	21,942	24,613	26,744	27,313



【2019年度実績分析】

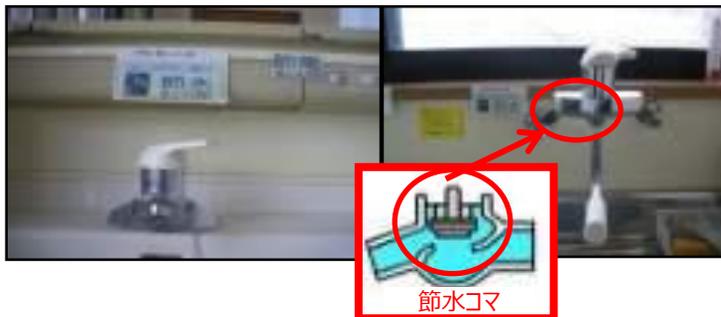
自動車会社の増産や輸入品の増加の影響で梱包資材等の廃棄量が大幅に増加。また中国の廃プラ輸入制限により、廃プラが有価物としての売却が不可となり、産業廃棄物で処理するケースが増加した為、原単位当たりの目標値も未達成となりました。各所で有価物として引き取れる処理業者への変更を検討し、排出量削減に努力を行っています。

➤ 【水】

1. 水道の使用量を削減する取組をしています

(SDGs目標：6)

☆水道の使用にあたっての注意事項及び蛇口へ節水コマを設置して使用量を制限しています。

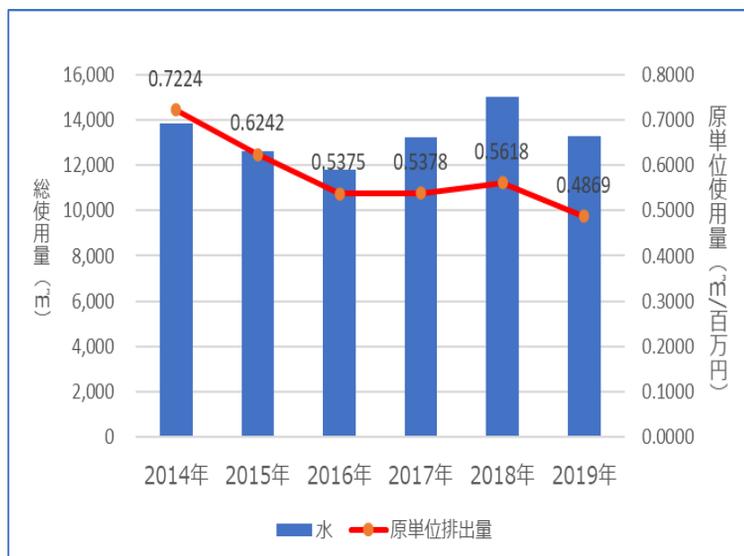


SDGsの目標との紐付け



2. 水道使用量と原単位（売上）当たりの実績

項目	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
水	m ³	13,854	12,607	11,794	13,238	15,024	13,299
原単位排出量	m ³ /百万円	0.7224	0.6242	0.5375	0.5378	0.5618	0.4869



【2019年度実績分析】

売上増と節水の両面から効果が得られ、原単位当たりの目標も達成となりました。18年度は西日本豪雨の災害で一時的に使用量が増加した年でしたが19年度においては外部の影響も少ない年となりました。

➤ 【社会】

1. キャップを回収してエコキャップ推進協会へ寄付をしています。 (SDGs目標：3、12)

再資源化、二酸化炭素の削減を目的に「地球に愛を子供に愛を」の運動を推進しているエコキャップ推進協会にペットボトルのキャップを回収し寄付しています。

- ☆2020年3月現在の累計個数
及び二酸化炭素削減量は
- ・キャップ個数
累計 188,371個
 - ・二酸化炭素削減量
累計 1,380kg-CO₂



2. 広島県ジュニアゴルフ振興会の支援活動を推進しています (SDGs目標：3)

広島県ジュニアゴルフ振興会が行っているジュニア育成を目的とするスナッグゴルフのスクールセットを県内各地の小学校に寄付していく活動に賛同しています。

- ☆スナッグゴルフ支援
自動販売機を設置
- ・設置場所
本社、広島



- ☆広島県ジュニアゴルフ
振興会による小学校へ
のスナッグゴルフ指導
会の開催風景



3. フロンの漏洩防止として対象機器を定期的に点検・管理をしています (SDGs目標：13)

フロン排出規制法の管理対象である業務用エアコン・スポットクーラー等の第一種特定機器のフロン漏洩や損傷等の有無を点検・管理しています。(1回/3ヶ月)

SDGsの目標との紐付け



4. 会社の近隣地区の美化活動を推進しています

(SDGs目標：11)

おかやまアダプト推進事業の清掃美化活動のボランティア団体である「ハーバーランド530（ゴミゼロ）隊」に参加し、玉島ハーバーランド工業団地内の道路・公園・河川等の清掃活動に取り組んでいます。



SDGsの目標との紐付け



5. 藤沢市のまちづくり推進事業に貢献しています

(SDGs目標：7、11)

倉庫の屋上にヒートアイランド対策として840㎡の緑地帯を設置致しました。又この取組を「緑と花のまちづくり」に参加し建物緑化賞の屋上緑化の部で金賞を受賞致しました。



☆授賞式の様子

SDGsの目標との紐付け



➤ 【教育とコミュニケーション】

1. 社員（パート、人材派遣含む）に対して定期的に階層別・業務に必要な知識・技能の向上をする為の教育と訓練を実施しています（SDGs目標：4）

☆法的資格の取得の支援・援助

☆品質/安全/環境に関する教育・訓練

避難訓練



消火訓練



油漏れ対応訓練



新入社員教育



3年目研修



昇格者研修



☆協力企業と合同で安全会議を開催し、環境/安全/品質に関するテーマを設定した教育を営業所単位で実施しています



2. 大学や学生のニーズに対して積極的に対応するインターンシップを2009年度より毎年開催しています（SDGs目標：4）

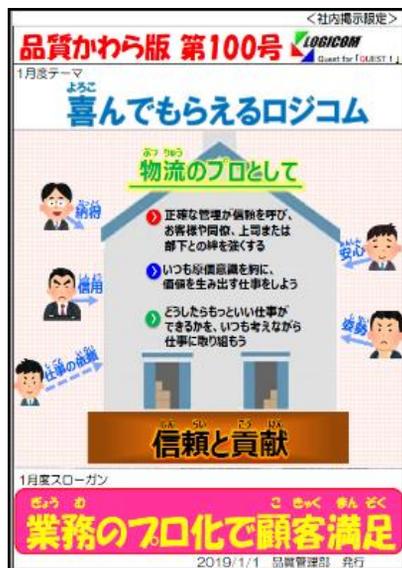
現場実習



3. 品質及び環境に関する啓蒙活動として定期的に「品質かわら版」と「E-COM NEWS」を発行しています (SDGs目標: 4)

(1) 品質かわら版

品質に関する情報提供による啓蒙資料
1回/月発行で通算100号を達成しました



(2) E-COM NEWS

環境に関する啓蒙資料を発行



SDGsの目標との紐付け



➤ 【コンプライアンス】

1. 法令や就業規則、企業倫理、社会規範等に従いルールを遵守した企業活動が公平、公正に遂行できているのかを内部監査や日常管理活動で確認チェックをしています

内部監査及び第三者機関による監査結果の違反、訴訟等の有無

- ① 環境関連法規への違反、逸脱
2019年度における自主点検の結果、環境関連法規の違反、逸脱はありません
- ② 訴訟等の有無
環境関連機関などからの法規制違反の指摘、環境問題に関わる苦情、事故及び訴訟等の請求は過去3年間1件も発生しておりません

当社に適用される主な環境関連法規制の遵守結果

適用法	要求事項	評価
省エネ法	<ul style="list-style-type: none"> ・使用状況届出書等の提出と中期事業計画書の報告 ・エネルギー管理統括者の配置 ・エネルギー管理企画推進者の配置 	○
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の適正処理 ・処理委託業者との契約締結 	○
水質汚濁防止法	<ul style="list-style-type: none"> ・事故等の届出 	○
浄化槽法	<ul style="list-style-type: none"> ・設置の届出 ・浄化槽の適正な維持管理（点検、検査等の実施） 	○
自動車NOx・PM法	<ul style="list-style-type: none"> ・規制区域内への乗り入れ証 ・適合車種の導入 	○
消防法	<ul style="list-style-type: none"> ・少量危険物貯蔵所の届出と危険物取扱管理者の配置 ・防火管理者の届出 ・消防設備の点検と結果報告 	○
騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定施設の届出 	○
公害防止組織法	<ul style="list-style-type: none"> ・公害防止管理者の配置 	○
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> ・第一種特定製品の定期点検 	○
電気事業法	<ul style="list-style-type: none"> ・自家用工作物として電気設備の技術基準への適合、関連手続き 	○
電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法	<ul style="list-style-type: none"> ・固定価格買取制度に基づき売電する為の、接続契約を電力会社と行ない、経済産業大臣の設備認定を受ける 	○

➤ 【作業環境の整備】

1. 夏季の倉庫内の体感温度が40℃以上になる為、作業者への熱中症予防対策を積極的に実施しています (SDGs目標：3)

①倉庫内の天井に大型シーリングファンを設置し、空気循環をよくすることで体感温度を約3℃～5℃程度下げています



②熱中症対策の一環として、スポーツ飲料とお茶を、期間限定で50円自動販売機を各所へ設置しています。



③スポットクーラーを倉庫内の作業場所付近に増設して温度上昇を抑制しています。

☆滋賀営業所では、パイプ・防災シートにて個室化を内製で行い、スポットクーラーの冷房効果を高める様に工夫を行いました



SDGsの目標との紐付け



➤ 【働き方改革への取組】

採用活動と次世代育成を意識した
企業の魅力づくりにつながる働き方改革

(SDGs目標：5、8)

取組内容

- ・企業の魅力づくりにつながる取組で採用への相乗効果を図る
- ・人事評価等を活用して、管理職層の意識改革を促進
- ・対象者へ休暇取得を促す積極的な呼び掛け（メール通知など）
- ・従業員の声を反映しながら、休暇取得のルールを改定
- ・多様な働き方（女性活躍・高齢者・障害者）を支援する幅広い取組

取組の成果

- ・ **有給休暇の取得増加**
有給休暇日数は前年対比1.1倍、時間単位の有給休暇取得は前年対比2.2倍となりました
- ・ **生産性の向上**
倉庫・車両等のインフラや人員不足の課題がある中、各所において倉庫充填率や生産性の改善により荷量増加を吸収し、全体の売上高は増加しました
- ・ **女性ドライバー採用セミナー（はこびなでしこセミナー）に参画**
広島県と広島県トラック協会が連携した女性のドライバー採用セミナー（はこびなでしこセミナー）に協賛し、参加企業合同のPR活動による就職セミナーに参画しています。ドライバーという職業に興味を持っていただく為の取組をしています



☆はこびなでしこの発表会の模様



☆PRビデオ

取組の評価

☆取組内容が評価され、2018年度に広島県の働き方改革実践企業に認定されました。今後も、広島県だけでなく全国の社員それぞれの境遇に寄り添う環境づくりに努めて参ります



☆認定証授与式の様子

SDGsの目標との紐付け



➤ 【地域未来牽引企業】

1. 地域経済のバリューチェーンの中心的な担い手として（SDGs目標：8）

弊社は、2018年12月に経済産業省が選定する「地域未来牽引企業」（※）に認定され、2019年5月25日の「地域未来牽引企業サミットin広島」に参加しました。

2019年5時点で全国3,691社（広島県内では78社）が選定されています。

「地域未来牽引企業」に選定されることにより、政府や金融機関等から、海外進出やIT投資等に関する様々な補助や支援が受けられることとなります。

今回の受賞を機に、地域・国内外において益々皆さまのお役に立てる企業を目指して参ります



地域未来牽引企業

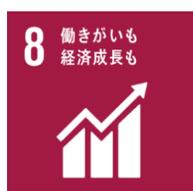


☆角田常務（左）経済産業大臣（中央）大上社長（右）

（※）【地域未来牽引企業とは】

「地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域の事業者等に対する経済的波及効果を及ぼすことにより地域の経済成長を力強く牽引する事業を更に積極的に展開されること、または、今後取り組まれることが期待される」（経済産業省ホームページより抜粋）

SDGsの目標との紐付け



9. 代表者による評価と 見直しの結果



項目	見直し内容及び評価
環境経営方針	2020年2月1日改訂
環境目標の実績	<p>①二酸化炭素排出量 ・軽油の使用量増加や東京電力から中国電力へ電力会社の変更による係数の増加もあり原単位目標値は未達となりました</p> <p>②産業廃棄物排出量 ・輸入品の取り扱いが増加したことで海外の廃プラ輸入制限により原単位目標値として未達となりました</p> <p>③水道使用量 ・節水と売上増による効果で目標達成</p> <p>④グリーン購入 ・目標に対しては未達となりましたが、購入率は40%と高い水準となっています</p> <p>⑤燃費 ・燃費としては未達となったが、今後の車輛大型化による原単位での効果が期待できる</p> <p>⑥省エネ法「事業者クラス分け評価制度」 ・Sクラス認定（経済産業省 資源エネルギー庁ホームページに掲載）</p>
環境に配慮した製品・サービスの販売	太陽光発電の売電 保険契約約款を印刷物からWeb約款に変更（印刷物の削減）
環境経営計画	取り組み事項の確実な推進により、その成果が着実に現れてきているので、活動を継続し全員が一丸となって目標達成に向けて努力をします
環境関連法規	環境に関する法令の違反はなく適正に対応をしています
環境教育	新入社員への環境教育やE-COM NEWSの発行により意識付けができた
緊急事態訓練	緊急時の対応訓練を定期的実施することで、緊急事態に対する意識付けと行動が明確になりました 車両の油漏れチェックを点検項目に追加・実施をしており、予防処置となった
環境コミュニケーション	外部からの苦情はなく、又内部からは環境に関する改善提案を推進します。環境に関する情報はホームページに公表をしています
社会貢献	エコキャップ運動、屋上の緑化、地域との環境保全協定の締結、東京海上日動火災保険株式会社の「Green Gift」プロジェクト等を通じて社会への貢献活動を継続しています
総評	<p>照明のLED化を進めた効果として段階的に原単位での削減に繋がっています。 一方でLED化が概ね済んだことから削減率の下げ止まりが見受けられるため、今後は新たな方向性として以下を中長期的に進めたいと思います。</p> <p>①LPG式フォークリフトからバッテリー式フォークリフトへの変更 ※充電設備への考慮も行き段階的に変更を進める</p> <p>②倉庫新設時、太陽光発電を含む循環型（orクリーン）エネルギーへの一部切替えを推進する</p>